

きたひろしま

議会だより

vol.24

2011.5.1



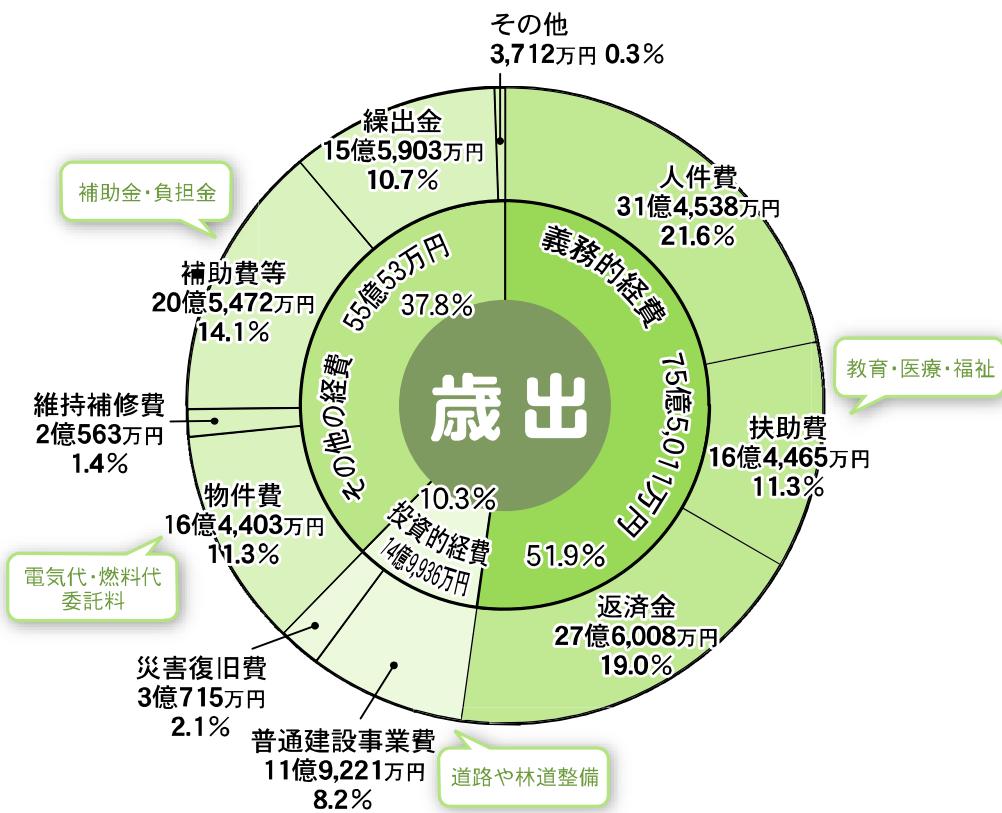
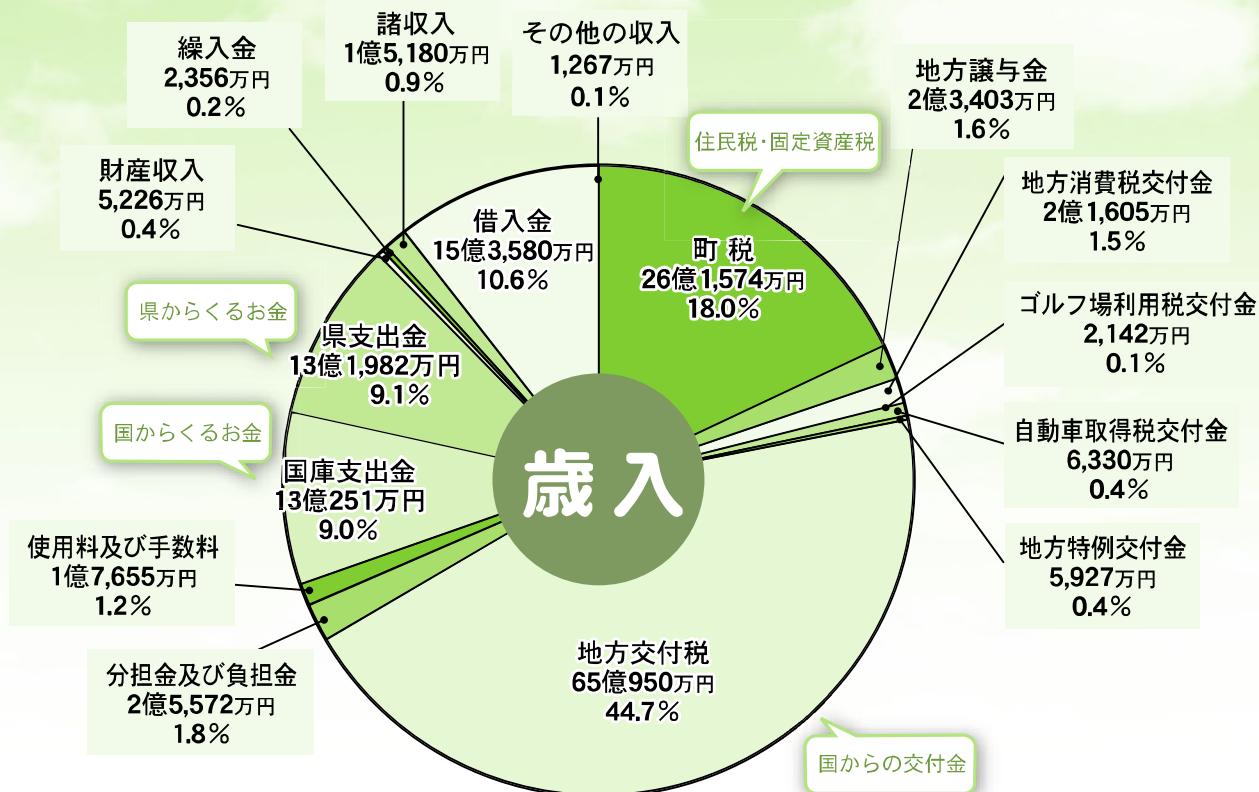
東日本大震災の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます

第1回定例議会 <3月9日～3月25日>

平成23年度当初予算	P2～P6
一般質問 17議員が町政を問う	P7～P15
議会構成決まる	P15～P18
がんばっています(雲月小学校)	P19
議会傍聴記	P20

145億5,000万円

定住促進・農業振興に本腰予算



3月定例会は、9日から25日まで開かれ、平成22年度補正予算、平成23年度当初予算を原案のとおり可決した。
一般質問では、17人の議員が行政課題をたださきで採用した。
※3月定例会より一問一答方式を時間制限付



▲舞ロードIC千代田

町の玄関口 道の駅拡張

4億3,806万円

設 計	1,386万円
用地買収	4億2,200万円
管理運営	220万円



▲ルンビニ園保育所

子育て支援センター新設

3,708万円

(千代田地域)



▲町営住宅(有田)

若者定住促進住宅

6,000万円

豊平地域(宅地造成) … 3戸 1,000万円

芸北地域(住宅建設) … 2戸 5,000万円



▲三島食品 広島菜畑

新規就農支援

912万円

農業技術大学校 … 就学支援 1人当たり 108,000円／年

認定研修支援 … 就学支援 1人当たり 15万円／月

平成23年度 会計別当初予算額

(△=減)

会計名	A 平成23年度 当初予算額	B 平成22年度 当初予算額	増減額 C=A-B	増減率(%) C/B×100
一般会計	145億5,000万円	141億7,000万円	3億8,000万円	2.7%
国民健康保険特別会計	21億5,800万円	21億5,800万円	0	0.0%
老人保健特別会計	廃止	73万円	—	—
下水道事業特別会計	6億9,700万円	7億9,400万円	△9,700万円	△12.2%
農業集落排水事業特別会計	3億7,000万円	3億8,200万円	△1,200万円	△3.1%
介護保険特別会計	21億9,100万円	23億2,800万円	△1億3,700万円	△5.9%
簡易水道事業特別会計	3億1,500万円	3億200万円	1,300万円	4.3%
電気事業特別会計	4,490万円	4,900万円	△410万円	△8.4%
住宅団地等開発特別会計	廃止	1,300万円	—	—
芸北財産区特別会計	2,420万円	2,400万円	20万円	0.8%
診療所特別会計	1億6,900万円	1億7,680万円	△780万円	△4.4%
情報基盤整備事業特別会計	3億6,000万円	3億4,100万円	1,900万円	5.6%
後期高齢者医療特別会計	2億5,830万円	3億円	△4,170万円	△13.9%
計	211億3,740万円	210億3,853万円	9,887万円	0.5%

公営企業会計	A 平成23年度 当初予算額	B 平成22年度 当初予算額	増減額 C=A-B	増減率(%) C/B×100
水道事業会計	収益的収入	1億4,215万円	1億4,810万円	△595万円
	収益的支出	1億3,346万円	1億5,452万円	△2,106万円
	資本的収入	558万円	2億3,044万円	△2億2,486万円
	資本的支出	4,121万円	2億8,111万円	△2億3,990万円
豊平病院事業会計	収益的収入	8億5,117万円	8億6,329万円	△1,212万円
	収益的支出	8億5,117万円	8億6,329万円	△1,212万円
	資本的収入	1,828万円	2,853万円	△1,025万円
	資本的支出	4,640万円	4,560万円	80万円

予算審査特別委員会 主な質疑・答弁

歲入

問 地方交付税が1億円減つて
答 割ったため
　　国勢調査で人口が2万人を
　　いる原因は

問 今年は豪雪だったが国・県道の除雪費はどの程度入るのか
答 2年越しの精算で今年分は24年度に精算される。

問 大震災後、国は交付金支給を一時延期しており予算執行は慎重にすべきでは
答 交付税の配分は事情によつては変化する可能性がある

問
答
二町政懇談会は4月から
実施するのか
23年度から各支所を1ヶ月

特別会計

問　国保会計で法定外の繰り入
れはあるか

答　赤字補てんの繰り入れはし

問 震災被災者受け入れのための町営住宅は何戸か
答 3戸 提供する

問 答 今回のようだ震災に上下
水道は耐えられるか
絶対に大丈夫とは言いきれ
ない

豊平中学校の周辺の地権者の理解を得て駐車場、野球場など整備してはどうか

問 土木関係課を一つの支所に独立させては
答 支所のありようを含め考えていいきたい

答　きたひろネットで防災安心
メール、議会の録画中継の
実施を
努力する

問 臨時職員、非常勤の数は

総括質疑

答	問	答
当面は直営、準備ができた段階で委託を考えている	ファミリーサポートセンターの運営は	平成22年度41人、平成23年度52人の予定

問	答
町民ぐるみのリサイクル運動の20万円の奨励金より、キロ当たり10円の助成にしては	比率の予想は 平成23年度末の実質公債費 19・7%位を予定

平成23年度 一般会計予算

賛成討論

箕牧 智之

置や低額の音声お知らせ放送への見直しを求めたが検討もしない。

第二に急ぐ必要がない道の駅・舞ロードの広場

を4億円もかけて購入。

第三に問題が解決してい

ない豊平中学校への統合小学校の実施設計の予算。

第四に一般行政に移るか判らず、不要不急の予算は後回しにしてでも

福祉を優先すべきだが、主に以下の問題がある。

第一は今回の大震災で緊急情報の伝達が注目された

が、北広島町の千代田地区ではきたひろネット未加入の4割の世帯には伝える手立てがなく、防災無線の設

国政においては与野党がもめているなか東北での大震災があり、国の予算審査はストップの状態であるが、わが町では予算審査特別委員会において審議、可決されました。

歳出において人件費をはじめ各種経費の節減、安

全安心なまちづくり、観光、農林業、地域活動、高齢者、障害者学校教育社会教育等バランスのとれた予算と考へる。

「キタね！広いね！北広島」のごとく来てよかつた、住んで良かつたといえる町づくりの予算執行を期待して賛成討論とする。

反対討論

反対討論

賛成討論

美濃 孝二

東日本大震災で、国の支出も復旧費等に回り、予定どおり予算が見込めぬか判らず、不要不急の予算は後回しにしてでも

第五に資源ごみリサイクル町民ぐるみ運動の報奨金はやめ、重量単位での補助にあてるべき。

第六に国民健康保険税の引き上げにならないための法定外の繰り入れを行わない。

これらのことが
決まりました

【条例改正】

議案第7号 北広島町特別会計条例の一部を改正する条例

議案第8号 北広島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議案第9号 千代田児童館設置及び管理に関する条例を廃止する等の条例

議案第10号 北広島町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例

議案第11号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

どうなる?
私たちの
町づくり

17議員が32項目について問う

問 役場支所のあり方を論じる

答 相談しながら検討する



箕牧 智之

一年を総括する

北広島町においてはこの

一年数々の不祥事が発生した。

そのたびに議員への風当たりも

強く胸の痛むことの多かつた1

年であった。行政当局はどのように考へているか。

問 在支所は自治振興課と産業建設課のみで非常に淋しい職場となつてきている。特に若い職員は気の毒に思う。本庁に集中するのをやめて豊平支所に本庁建設課を移設すれば、本庁・各支所にも近く西建設事務所にも近い。合併10年後をめどに実現して欲しい。

答 支所については住民サービスの窓口として町民に応えていきたい。

建設課については大きな災害等発生した時、敏捷な対応が求められる。

貴重な意見としてお聞きする。

役場豊平支所▼



問 農業法人の育成・健全化を

答 JA(農協)、県と協力し、法人・担い手育成など総合的に支援



藤井 勝丸

農地・地域を守るために、集落富

積極的に推進されているが、その現状と方針について次の3点を問う。

(1)法人・担い手・リーダー・新規就農者の育成方針は。

(2)集落農法人の経営(収益性・社会性・継続性)経理の状況と問題点、また、2年以上赤字経営の法人はないか。

(3)農業経営のチェック・監査体制は。

答 (1)町内には農業生産法人28組織

・當農集團143団体が組織されて

いる。JA・県と連携し、法人・担い手の育成・集落法人連絡協議会の行う

経営高度化に向けた調査・研究を積極的に支援する。

23年度から産業課に新規就農推進室を新設することも、意欲ある青年の育成、新規就農者受け入れ法を総合的に支援する。

(2)水稻だけに頼らない収益性のある作物の導入、生産と販売の取り組みを積極的に指導する。

毎年決算書の提出を求め経営状態を把握している。

21年度においては、22法人の決算に2年以上連續赤字の法人はない。

(3)法人の申し出により協議会の活動として対応し健全化に努めている。

・JA顧問税理士、県の指導所

経営担当者の協力を得て指導している。

・町としては法人を会計監査する立場ではない。

(注: 法人の運営は組合員から選ばれた組長、理事、監事の責任と組員の連帯責任で運営される)

問 農作業事故の削減と安全対策は

答 広報、きたひろネットを通じ
事故防止対策を行う



宮本 裕之

故は3件起きている。

問 農作業は、農業機械の目覚しい発展で、作業効率は良くなってきた反面、作業中の事故によつて全国で毎年400人もの命が失われている。これまで、農

作業事故は取り上げられることもなく、原因や統計の説明もされていないし、事故防止の対応も曖昧なまま今日に至っている。

近年の本町における農作業事故の件数、死亡事故の状況は。

今後、本町として農作業事故防止対策をどのように行っていくのかを考えを問う。

答 本町における農作業

中の事故は、この5年間で55件発生していて、このうち死亡事



▲危険を伴う農作業

答 一ターン・レターン者への住宅建築費補助政策も重要なと考えるが、町内の若者が生まれた地元に帰つて住宅を新築、増改築することにも補助することでの働きはないか。

問 一ターン・レターン者への住宅建築費補助政策も重要なと考えるが、町内の若者が生まれた地元に帰つて住宅を新築、増改築することにも補助することでの働きはないか。

答 県も早い立地に向け企業に働きかけをされ平成23年度から企業立地促進助成制度を40%に拡大（現行25%）総額で最大50億円の助成となり誘致に取り組まれている。町は誘致に向けインフラ整備等を行つてある。

問 他人との比較で向上するのではなく自分との競争だと思ふ。到達目標に対しても習得できるのか、そのため個別支援をいかに行えるか学力の命運はそこだと考えるが、現状を問う。

答 中学校の先生方が協力し授業の研究等を計画的・積極的に実施し指導方法を改善工夫し、確かな学力定着を図り、学力定着の不十分な児童生徒をなくする取組みを行つてある。

問 町政2期目の展望は

答 インフラ整備を行つてある



真倉 和之

答 雄鹿原住宅は平成23年において国の地域住宅交付金を活用し建設を予定している。志路原住宅は平成23年度造成、平成24年度建築を予定しており、間所団地は土地の鑑定評価を行い改めて価格の設定を行い販売促進に努める。

問 若者定住促進住宅は町有未利用地を活用し、芸北、豊平地区に建設予定の建築時期はいつ頃か。また間所団地の今後の販売戦略を問う。

答 町内の定住者に対する補助制度は、町内の建設関連の需要にもつながることであり、その成果を考えながら検討していく。

17議員が32項目について問う

問

なんといつても学校は当該地域の教育と文化の拠点

代田を含め、学校統合検討委員会（仮称）を設置し、誠意をもつて協議を行いたい。

解消が目的である。



▲千生小学校

問 教育環境の整備と統合推進の実態は

答 難題も多いが複式学級解消の合意を得たい



治 章 囲 魯

問　複式学級の解消と異なる
教育の充実を図るため、小学校の統廃合が進められている。対象地区で説明会が行われているが、以下について教育委員会の見解を求める。

答　複式学級の解消と学校教育の更なる充実のため、統合に対し対象地域の合意を得たい。

問 王生小学校の設計予算
が計上された。新築場所と
年度及び仮校舎の計画は、更に
旧町各1小学校化方針との整
合性は。

答 場所は現在地 改築年度
は24年を計画、仮校舎は今
後検討する。

旧町一小
学校化は目
標的なもの
で壬生小学
校の改築は

危険校舎の
解消が目的
である。

問 安心して暮らせる共生社会の実現を

答　物理的・意識的バリアフリーを更に推進



大林 正行

問 障害者が年々増加する中で、障害者支援は本町の中心的課題と考え、財政的に厳しい中での障害者支援策を問う。

公共施設のバリアフリー化の進歩状況は。

答　バリアフリー化が進んでいい実態もあるが、トイレにベビーシートを設置するなど緊急度等を考慮しその整備に努めている。

歩道の段差や傾斜、はがれ
た点字ブロック対策は。

答 問題のある場所については、
調査・点検し、西部建設事務所
と協議し補修する。

問 車椅子用トイレの所在箇所をサイン類や観光案内板に表示する考えは。

破損した
点字ブロッサム



会だより

問 スポーツで活気あるまちづくりを！

答 日本一元気な北広島町を創造する



日山 静樹

- 問 ワールドスノーボード大会開催の結果は。
- 答 スキー産業の再生という共通認識で、県・観光連盟、本町が一体となり開催し、外国選手も参加され話題性のある大会となつた。本町のスキー場を全国にアピールし、大会関係者の宿泊など経済効果もあつた。次年度も計画している。
- 問 町民大運動会を隔年開催とし、会場は豊平に決定すべきと思うが。
- 答 各地で選手選出等で努力されていることに感謝する。役員の負担が軽減できるよう会場も含め、実行委員会で検討する。町民一同が交流する大会として継続したい。

生涯スポーツの環境整備振興業は。

町民週1回以上のスポーツ実施を提言する。町内旧4町運動公園を中心に、指導員の強化、専門員の配置により、総合型スポーツクラブの振興を図る。

12月定例会の時も質問したが、建設場所等について再度質問する。小学校の統合について

は児童数の減少と小学校校舎の老朽化等を考えた時、統合は必要だと思う。安心安全な場所に建設するために次の質問をする。

(1)通学路の確保について。

(2)中学校の通学路である法面が昨年の豪雨で崩壊しており、復旧工事の予定を問う。

(3)バス停ロータリー建設予定と緩やかな通学路について。

(4)建設場所について、どんぐり付近の案はないか、子ども達が広い場所でのびのびと育ち大きな夢を育み、郷土を愛する環境が必要ではないか。



答 児童・生徒の教育が大切



室坂 光治

答 (1)通学路の確保では、歩道未設置箇所について建設課を通じ県に対し強い要望を行い前向きに検討している状況。

(2)通学路法面については、積雪で工事の発注が遅れたが、6月末工事完了予定で既に工事に着工している。

(3)バス停については、現状のスベースで対応可能と考えているが、通学に大きな影響がないか今後も協議をしていく。

(4)建設場所について、どんぐり

村地内に教育施設を整備した場合、児童の安全確保等様々

な問題がある

ると考え、中学校併設型の小中一貫校のご理解をいただきたいと考えている。

17議員が32項目について問う

問 住民に信頼される行政を

答 全力をあげてあたつている



梅尾 泰文

問 合併して7年目を迎える北広島町。これまで町職員もずいぶん退職された。退職者と採用者では圧倒的に退職者が多い。職員の退職者をみると、60歳の定年まで働いた人は僅か2割である。早期退職にはいろいろ要因があるだろうが、職場環境も大きく関係するだろう。

答 病気休暇の職員もある。職員が元気でのびのびとして、働き甲斐があれば町民に対するサービスも行き届く。これらの状況をどう把握しているか、またその原因や対応について問う。



▲北広島町役場本庁舎

問 会社というのはトップの考え方を受けて社員が動くのであるが、そだからこそ代表は社員にどう動いてもらうかに神経を注ぐといわれる。早期退職者8割をどう判断されているか問う。

答 いろいろな個人事情で退職された。水準の高い行政を全力でやっている。

問 男女共同参画に女性農業委員の登用を

答 理解を求め積極的な立候補を促す



中村 勝義

問 政府は05年策定の第二次男女共同参画基本計画で、各分野の指導的役割を果たす人に占める割合が20年までに30%になるよう目標値を示している。農水省も10年3月策定の新食糧・農業農村基本計画では、15年までに女性農業委員がひとりもない組織をゼロにするよう全国目標を設定している。その農業委員の選挙が7月に実施される。その取り組みは。

答 農業従事者の約半数は女性であり、小さな農業の元気回復の推進を担う基盤づくりを図るためにも積極的な立候補を期待している。

どう変わる新学習指導要領

問 社会の変化に合わせほぼ10年に一度内容が見直されている。日本の子どもの学力が低下してきたことから学ぶ量を増やし、授業時間数を見直すことにした今回の改正点と対応は。時間数は増えるが詰め込み教育への転換ではなく、基礎的な知識・技能の習得とこれを活用する力の育成を伸ばすことを目指していく。

きたひろしまバザールに任期付職員の採用を

問 新規栽培農家の掘り起こしや営農指導に普及員O.B等を任期付職員として採用し、農業振興に向けた事業展開を図るべきと思うが。

答 出荷者の中で優れた技能者や経験者がおられる。この人たちを指導者にと考えている。

問 担い手対策事業は

答 新規就農推進室を設置する

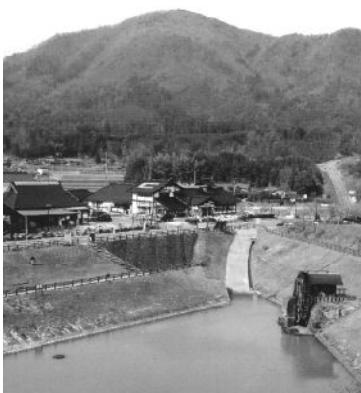


濱田 芳晴

問 広島県農林水産業チャレンジプランの発表で担い手の定義は、12年～22年では集落法人、農業参入企業であつたが今は認定農家・新規就農者の育成も加わった。本町も10ヶ年の農業基本計画が答申され、どんな事業が考えておられるか聞か。

答 県のチャレンジ事業23年度は世羅町と高野町がうけられる予定。本町も事業の計画を進められる計画があるか問う。

答 新年度新規就農推進室を設置。就農者歓迎北広島町



▲さんさん市

にきんさいをテーマに対策事業に取り組む。農業技術大学校入学2人に北部JAと学費の2分の1を支援。町研修施設研修予定者2人に同額15万円2カ年の研修費の助成。集落法人が新規の研修者を社員として育成する場合2カ年月額15万円を支援。また本年度独立者に30万円支援、独立年の園芸ハウスの3分の1補助、他田舎暮らし体験研修、農業塾などの事業また県の事業には芸北トマトの選果場の整備、他ハード事業を西部事業所と協議中である。

答 年間の活動報告と交流会を開催していきたい。町内外の方に、達人の意見も聞きながら多角的にコマーシャルをしていく。商品に該当するものは、達人の称号を活用し販売促進をして、誇りを持つて頂くことを考えたい。

問 地域協働活動・支援事業整理票の充実と町民への周知は

問 現在、地域協議会そして地域振興会が組織されてい る。自治組織として発展させ るためにも、事業整理票のメ



中田 節雄

二ユースを充実し、広く町民にも周知すべきだ。

答 がんばる地域応援補助金等の他に、新たに「資源ゴミリサイクル町民総ぐるみ運動」を創設しており、その他にも簡易な事業を調整し、順次メニューを充実していく。

問 「ゆうあいネット」の電柱・電線の撤去はいつになるのか

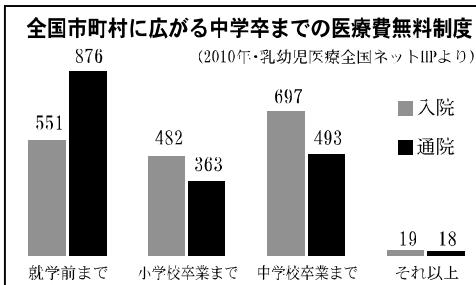
答 電柱のほとんどは木柱であり、根本の腐食が進み傾いているものもあり早急な撤去が必要である。

答 起債の償還が平成24年9月30日で終了するため、それ以後撤去していく。このことをきたひろネットや広報で周知していく。

問 「きたひろしまの達人」の活用をどうするのか

答 町内外に多角的に情報を発信していく

子どもを増やすため総合的な子育て支援が必要だが、「出費がかさむ」ことが最大の悩み。世羅町は中学卒業まで医療費は無料だが、保育料も半額にする。全国の3割が中学卒業まで無料だが、北広島町でも実施してはどうか。来るかどうかわからない企業のために12億円、道の駅の土地購入にかかるなどの税金の使い方を改めれば財源はある。



答 選挙を通じて信託を受け、行政を進めていることが責任。

答 本町では、166本の地下貯蔵タンクが設置している。今回の制度改正で芸北4、千代

問 子どもを増やすため総合的な子育て支援が必要だが、「出費がかさむ」ことが最大の悩み。世羅町は中学卒業まで医療費は無料だが、保育料も半額にする。全国の3割が中学卒業まで無料だが、北広島町でも実施してはどうか。来るかどうかわからない企業のために12億円、道の駅の土地購入にかかるなどの税金の使い方を改めれば財源はある。



美濃 孝二

答 必要性があつても、今すべきではない

問 保育料半額・医療費無料化で子育て日本一の町をめざせ

答 必要な負担を無料にすることが子育て日本一か。必要性はあつても今すべきではない。しないということを見極めるのも正しい行政の姿だ。

豊平中学校への小学校統合

問 設計予算が通れば、議会の賛成を得たと判断するのか。

答 議会の議決は大変重いもの。豊平中学校の場所は適当。

きたひろネット4億円問題

問 財源措置ができるといつても5千万円以上の損害。

町民は町長に無条件に任せておらず、事実と経過、説明責任を果たせ。

問 地域生活が不安

答 生活の角度から取り上げる



伊藤 久幸

問 地域から「ガソリンスタンドが消える」

消防省令が改正され地下タンク漏洩規制が2月公布された。設置年数20年以上の石油販売業者が対象。石油価格の高騰等による消費の落ち込みが経営収減になる。こうした運営環境下では一定の補助金制度はあるが、設備投資に多額の資金が必要となり廃業に追い込まれる業者が出て対応策はないか。近隣市町と連携をとり国・県へ要望する必要があると思うがどうか。



▲ガソリンスタンド

田3、事業所14本のタンクが該当。国・県補助制度は新規に対応推進事業補助率3分の2、県では設備資金の貸付利率引下げ融資期間の延長制度を設けた。

我々の中山間地域の生活の実情を同様の市町と連携をとり町村会・知事会レベルで生活の問題の角度から取り上げ働きかけていく。

問 大震災で被災された被災者の受け入れは。

答 町営住宅・教員住宅・雇用促進住宅等の空室を関係機関に受入れる用意があると伝えられた。今後も住宅の確保等積極的に対応していく。

問 路面凍結による事故防止対策は

答 融雪剤散布にて対応



久茂谷 美保之

問 全面雪で覆われた路面での事故は少ないと思われる。しかし、日陰などで一部が凍結による事故が多発している。国道や町道でもスリップ事故が発生しやすい箇所がある。町として危険箇所の把握、事故防止策、看板や標識等の設置策はできているのか。

答 危険な箇所は確認できている。業者に委託し融雪剤を散布し事故防止に取り組んでいる。また、広島県による融雪施設を設置し対応している。

新規就農対策と施設整備は

問 北広島バザールが本格的展開する今年度は、本町の標高差を活かした野菜等のリレー



▲特産野菜

栽培とリレー出荷を行い、きたひろネットの情報通信システムを活用した新しい生産、流通販売システムの構築などに取り組む年度であるが、農業後継者の確保や育成対策は。

答 農業者大学校への修学支援として、JA北西部の協力をいただき2人の方に支援し、北広島バザールでは、生産者バ

ーコードや生産管理を行うなど、リレー出荷へも取り組み、拠点との連携をする。

また施設整備として、JA広島市芸北トマト選果場のパソコンや、カメラなどを7月頃整備し支援する。

答 アンケート結果
3 小学校統合賛成 53 %
反対 8 % その他 39 %

小中一貫校賛成 28 % 反対

問 小学校統合は保護者意見の尊重を



田村 忠紘

問 教育委員会は、児童が急速に減少傾向にある豊平地区の3小学校を統合し、中学校併設型の小中一貫教育の実践を目指している。

答 保育所、小学校と中学校の各保護者会が行つたアンケート結果について教育長の所見は。学校建設場所は、様々意見があるなか、併設型の一貫校なら中学校敷地内が必須と思うが。併設の場合、保護者から水量不足、グラウンドの狭隘、駐車場不足と登下校時の安全面について指摘がある。

保護者の意見は尊重すべきと思うが。



▲小学生の交通安全指導

32 % その他 40 %
一貫校への取り組みが遅れた結果が数字に表れたが、先進校の体験発表を聞いて保護者の理解は得られたと思う。

建設場所は、中学校敷地内に現グラウンド面積を確保した上で併設型にしたい。用水の懸念は、調査の結果問題ない。安全面は、登下校時のルールづくりで整える。駐車場不足は、駐車場の分散型で対応する。

平成25年度開校をめざして進めること。

問 高齢者対策は最優先課題だ

答 元気で安心して豊かに過ごせるかを目標



大下 正則

体に委託。常に相談とか声かけ活動が必要

(3) あんしん電話 441台で年間750万円。

(4) ドアからドアで日常生活利用。病院、買い物等で利用者は徐々に増えている。料金は適当である。

(5) 少子化で率は上がる見込み。介護保険は在宅を目標にしているが、入所方式も考えたい。しかし、保険料が増え財源のあり方に課題がある。

問 少子高齢化で高齢者対策は最優先課題だと考える。老人福祉法が全面改正され、平成21年「第四期北広島町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」が策定。計画の目的に「住み慣れた地域で支えあいながら、いきいきと元気で安心して暮らしがけられれるようになつたか」その方向付けを検証。

(1) 高齢者の実態数値、将来数値、近隣市町の比較数値はどうか。

(2) 生きがい対策はどうか。
(3) 近隣互助等による安心対策はどうか。

(4) 交通機関対策はどうか。

答 (5) 今後の高齢者対策はどうか。
(1) 平成26年には高齢比率35・8%を予測。



▲ホーフタクシー

副議長は、加計雅章 副議長に藤堂修壯を選出

副議長就任あいさつ

藤堂 修壯

このたび議員皆様のご推挙をいただき副議長に就任させて頂くこととなり身に余る光栄でありますとともにその責任の重大さを痛感しております。もとより浅学非才ではありますが副議長としての職務を一生懸命まつとうし議会活性化に向け努力する決意でございます。議会は言論の府であります。

その裏には住民の幸せと元気な町作りがあることを念頭に置き、また議会が公正かつ円満に運営されるよう努めるとともに町民皆様の期待に添える議会を目指し誠心誠意努力する所存であります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げごあいさつといたします。



議長 加計雅章



副議長 藤堂修壯

北広島町議会構成

北広島町議会では、よりよい町政を行うため、三つの常任委員会・議会運営委員会・その他特別委員会等を設けて活動を行っています。



常	総
任	務
委	
員	会

浜田 芳晴

財政を考えながら若者の定住が出来る事業、観光を中心とした交流事業、きたひろネット全戸加入による利用方法の事業など所管事務調査に取り組み、委員一人ひとりの思いが反映できる委員会になればと努力してまいります。



常	文
任	教
委	・
員	厚生

伊藤 久幸

本常任委員会は、学校教育関係全般、人間一生にかかる社会福祉関係全てを所管する住民生活に最も密着した委員会です。委員一同、責任の重大さを認識し、皆様のご期待に添うべく、鋭意研究に努力いたします。

常任委員会

室坂 光治



今回の改選後の、本委員会の委員長に就任しました。
舞ロードIC千代田の2期目の整備や、定住促進住宅建設等、農業の担い手確保に頑張つてまいります。

運営委員会

日山 静樹



議会運営委員会は、①議会の運営に関する事項、②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、③議長の諮問に関する事項など、重要な責務を持つており、今地方議会が問われる中、適性円滑な議会運営を進めるために努力してまいります。

◎は委員長、○は副委員長

議会 特別委員会 広報

「議会の様子をわかりやすく伝えます」
 議案審議での質疑応答や委員会報告、さらには各条例、
 陳情についても詳しく内容を掲載します。町民皆様に
 「読みやすく、わかりやすい」議会広報を目指して委
 員一同頑張つて発行します。

宮本
裕之



大林正行
○蔵升芳信
箕牧智之
○大下正則
○宮本裕之
美濃孝二
○梅尾泰文

【特別委員会】

学校適正配置 調査特別委員会	◎藤井 勝丸	○久茂谷美保之	伊藤 久幸	箕牧 智之
	田村 忠紘	日山 静樹	宮本 裕之	
議会改革 調査特別委員会	◎中田 節雄	○美濃 孝二	梅尾 泰文	浜田 芳晴
	真倉 和之	大林 正行		
道の駅整備 調査特別委員会	◎蔵升 芳信	○中村 勝義	室坂 光治	藤堂 修壯
	大下 正則	亀岡 章治		

【一部事務組合等議員】

芸北広域環境施設組合(3名)	加計 雅章	中田 節雄	藤井 勝丸
山県郡西部衛生組合(2名)	久茂谷美保之	美濃 孝二	
広島県後期高齢者医療広域連合会(1名)	伊藤 久幸		
監査委員(1名)	中村 勝義		

雲月小学校

がんばっています

4月12日、雪もやがてやくとば、
体育の授業を久しぶりに校庭で
行いました。子どもたちの元気
のよい歓声が校庭から聞こえて
くると、学校にも活気があふれ
ます。

子どもたちの基礎的な体力の
向上を図りたいと、週2回の業
間運動を本校でも行っています。

1学期は一輪車や登り棒などの
器具を使った運動。2学期は8
秒間走や3分間走、マラソンな
ど走る運動。3学期は縄跳びな
どです。2校時の授業が終わる
と、子どもたちは校庭に飛び出

し、その日のメニューに挑戦し
ています。

また本年度は、十分な外遊び
の時間を確保し、定期的に職員
も一緒に遊ぶことを通して、少
人数では味わえない満足感を味
わわせていきたいと考えていま
す。

折しも、町の施策として体力
づくりが打ち出されました。新
しく設置された学校調整員との
連携を深め、日常的な活動によ
る体力向上を推進していきたい
と考えています。



▲北広島町立 雲月小学校



議

会傍聴記

「災害の危機管理に思うこと」

東日本大震災は、かつてない惨禍をもたらしました。あらためて、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

私達の住む北広島町の災害時の危機管理に対する態勢はどうでしょうか。議会傍聴時に感じたことは、危機管理監が議会に出席していくなにに疑問を抱きました。議員の危機管理に関する質問には、よく知っている危機管理監が答弁されるのが良いのではないでしょか。私達住民も安心感をもちます。

危機管理の内容は、自然災害、ミサイル、インフルエンザのように多岐にわたり、スタッフについても検討する必要があると思います。時には議会を傍聴し、私達の代表がどんな質問をされるか関心を持ち、緊張感あふれる雰囲気を体感したいと思います。

豊平地区 神川潔

表紙の写真



雲月山は、西中国山地国定公園の中に位置し、なだらかな草原の山として家族連れや年配者からの人気も高く、年間約1万人の登山客が訪れる山です。天気の良い日は遠く日本海や風力発電の風車を見ることができる。

古くから、山焼きが行われ牛馬の放牧がされていたことにより、貴重な動植物の生態系を守ると同時に美しい景観も保存されました。

地元の雲月小学校も春の山焼きに積極的に参加協力し、その後の生物観察を行うなど、特色を活かした勉強をしている。

3月議会一般質問が行われた17日は、東日本大震災において尊い命を落とされた犠牲者への弔辞、また、被災地の1日も早い復興を願う議長の挨拶から始まり、議場内全員による黙祷の後、町長からは被災地への積極的な支援を行う事が表明された。またその後報道される惨状は想像を絶するもので、遠くの出来事でないとの思いが募る。僅かでも出来るだけの支援をしたい。

北広島町は地震も少ないし、津波もない安全な町だと日々頃思っているが、近年の異常気象による豪雨の多発は気にかかる河川の氾濫、津波は無いが山津波の心配は多い。学校校舎の耐震化も遅れている。

あとがき

